

取扱説明書

高圧グリースポンプ
SK-700 ITEM No.881245



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

－ はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

－ 使用目的

本製品は、レバー式手動ポンプで、NLGI No.0 のグリースを給脂する機器です。

キャビネット内に多量のグリースを保有でき、コンプレッサーのない屋外などでの給脂作業に最適なポンプです。ご使用になれるグリースは、NLGI No.0 位までのグリースです。あまり固いグリースを使用すると、エアポケットが生じ連続しての使用はできません。

－ 警告・注意事項

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ず従っていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

- 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

警告

〔使用方法について〕



- ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。



- 使用するグリースの種類によっては、発ガン物質が含まれているものもあります。グリースメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取り扱ってください。

注意

〔使用環境・条件について〕



- 本製品は、グリース以外の溶剤には使用できません。



- 本製品は、固いグリースをご使用になるとポンプのサクション部の周りに空洞が生じ、連続して使用することができません。NLGI No.0 位までのグリースにのみご使用ください。
固いグリースをご使用になる場合は、お買い上げの販売店、または裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

〔据え付けおよび配管について〕



- 作業の際には、保護具（手袋、保護眼鏡、安全靴など）を着用してください。



- グリースが目に入った場合は、ただちに専門医の診察を受け、適切な処置をしてください。また、皮膚に付着した場合は、炎症を起こすことがありますので、水と石鹼で十分に洗い流してください。



- 傾斜地など不安定な場所での使用または放置はしないでください。転倒により油槽内のグリースが流出して周囲環境を汚染します。



- 油槽へ蓋を乗せる際や、バンドで蓋を固定する際は、手などを挟まないように十分に注意して作業してください。



- グリースの移し替えなどで本製品を持ち上げる際は、落とさないように十分に注意してください。落とした場合、無理に受け止めようとすると、エッジ部で手などを負傷する恐れがあります。



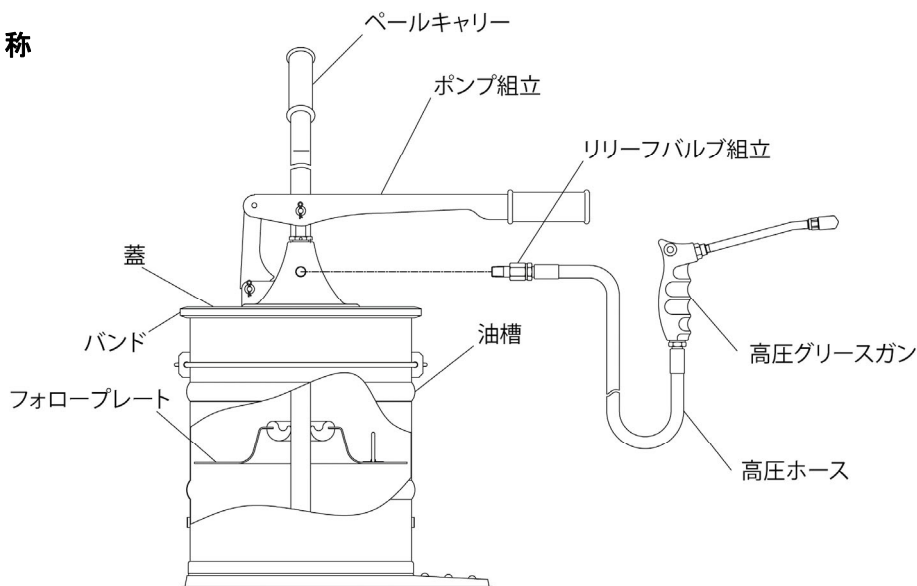
- ご使用の際、静電気のスパークによって人体がショックを受けることがあります。必ずアース線によって使用環境に従いアース（別売）を確実に実施してください。

目次

- はじめに
- 使用目的
- 警告・注意事項
- 使用上の注意
- 目次
- 1. 各部の名称
 - 1.1 各部名称..... 1
 - 1.2 梱包内容..... 1
- 2. 使用前の準備 1
- 3. 使用方法..... 2
- 4. 保守・点検
 - 4.1 故障の点検とその対策 3
 - 4.2 保守・点検 3
 - 4.3 分解・組み立て 3
- 5. 部品分解図・パーツリスト
 - 5.1 881245 高圧グリースポンプ 4
 - 5.2 851111 ポンプ組立 4
- 6. 主要諸元..... 5
- 7. 製品保証登録シート 6
- 8. 保証規定..... 7

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

本製品は、段ボールケースに主機器と付属品が別個に梱包されています。
開梱後、ただちに輸送中の損傷がないかおよび付属品の欠品がないか確認してください。
また、締結部および配管接続部の緩みがないか確認してください。緩みがある場合は、増し締めを行ってください。

2. 使用前の準備

⚠ 注意



- 配管の接続を行う際には、オネジ部にシール材（またはシールテープ）を塗布し緩まないよう確実に締め込んでください。
シール材が配管内に入らないように注意してください。
また、アースの導通を維持するために先端 2 山には塗布しないでください。
（ただし、ホースユニオンに接続する場合は塗布しません。）
配管接続後、各部の漏れがないか、確認してください。

<ペールキャリアの組み立て>

別紙の組立要領書（Doc.No.OSA 135P）の「2. 組み立て手順」を参照し、ペールキャリアの組み立てを行ってください。

<グリースを油槽に移し替えて使用する場合>

- 1) ポンプ組立のグリース出口に付属の高圧ホース・高圧グリースガンを取り付け、スパナで確実に締め付けてください。
- 2) ペールキャリア車輪部の爪を油槽の底にかけてください。U ボルトを油槽の胴部にかけ、蝶ナット（2 か所）を締め込んで、確実に固定してください。
- 3) 油槽に蓋を固定しているバンドのストッパーを外し、止め金を起こしてバンドを緩めて外してください。（Fig.1）
- 4) 蓋をポンプ組立と共に取り外してください。
- 5) 油槽の中のフォロープレートを取り出してください。

※NOTE

ポンプ組立のサクション部、フォロープレートに砂やゴミなどがつかないように、十分注意してください。

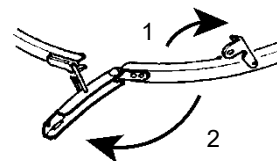


Fig.1

- 6) 油槽内を清潔なウエスなどで拭いてから、ご使用のグリースを移し替えてください。
砂やゴミなどがグリースに入らないよう、注意してください。
- 7) グリースの表面を平らにし、フォロープレートを中心にセットしてください。
- 8) ポンプ組立のサクション部をきれいに拭いてから、フォロープレートの中央の穴にポンプのサクション部を通すようにして蓋を元通りにセットしてください。(Fig.2)
- 9) バンドを元通りに締めて蓋を油槽に固定してください。
このとき、ハンドルの位置は、作業のやり易い位置に向けてください。
- 10) ハンドルを上下にしばらく動かすと、高圧グリースガンの先端からエアの混入したグリースが吐出されます。このエアの混入したグリースは機器に給脂せず、ビニール袋などの容器で受けてください。
機器に給脂する際には、さらにハンドルを上下に動かし、均一なグリースが吐出されるのを確認してからご使用ください。

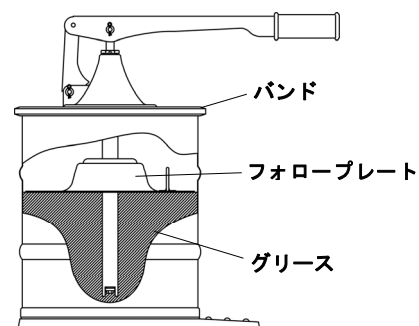


Fig.2

※NOTE

エアの混入したグリースは、白く濁っています。

＜ペール缶入りのグリースをそのまま使う場合＞

本製品は、グリースを油槽に移し替えずに、ペール缶に直接セットして使用することもできます。

- 1) ポンプ組立のグリース出口に付属の高圧ホース・高圧グリースガンを取り付け、スパナで確実に締め付けてください。
- 2) 新しいペール缶入りのグリースの蓋を取り外してください。(Fig.3)
- 3) ペール缶入りのグリースの表面を平らにし、フォロープレートを中央にセットしてください。(Fig.3)
- 4) ポンプ組立のサクション部をきれいに拭いてから、フォロープレートの中央の穴にポンプのサクション部を通すようにして蓋をペール缶にセットしてください。(Fig.3)
- 5) バンドを締めて蓋をペール缶に固定してください。(Fig.4)
このとき、ハンドルの位置は、作業のやり易い位置に向けてください。
- 6) ペールキャリア車輪部の爪をペール缶の底にかけてください。Uボルトをペール缶の胴部にかかけ、蝶ナット（2か所）を締め込んで、確実に固定してください。(Fig.3)
- 7) ハンドルを上下にしばらく動かすと、高圧グリースガンの先端からエアの混入したグリースが吐出されます。このエアの混入したグリースは機器に給脂せず、ビニール袋などの容器で受けてください。
機器に給脂する際には、さらにハンドルを上下に動かし、均一なグリースが吐出されるのを確認してからご使用ください。

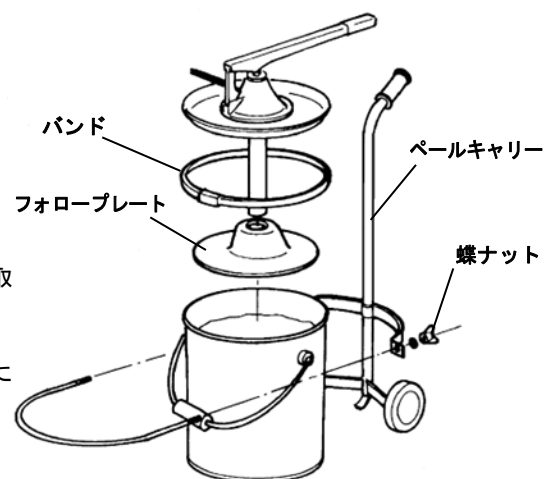


Fig.3

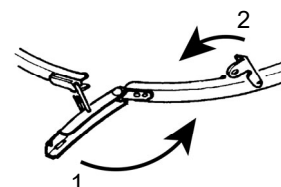


Fig.4

※NOTE

エアの混入したグリースは、白く濁っています。

3. 使用方法

- 1) 高圧グリースガンの先端（チャック）と、相手の給油口を清潔なウエスなどでよく拭いてください。
- 2) チャックを相手のニップルに垂直になるようにセットし、少し押すようにしてチャックをニップルに噛み付かせてください。(Fig.5)
- 3) 高圧グリースガンをそのまま保持しながら、ポンプのハンドルを上下にゆっくり操作してください。
ハンドルを下げるときに、グリースが吐出します。グリースが正常に給脂されると、古いグリースがその部分の溝、または、隙間から押し出されてきます。新しいグリースと入れ替わるまで給脂を続けてください。
- 4) 給脂終了後、チャックをニップルから外してください。チャックは強い圧力でニップルに噛み付いているので、無理に引っ張るとニップルの頭部を折る恐れがあります。チャックを斜めに傾けて内圧を抜くことにより簡単に外すことができます。(Fig.6)

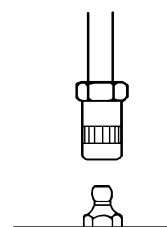


Fig.5



Fig.6

4. 保守・点検

4.1 故障の点検とその対策

状 況	原因および点検	対 策
ハンドルを操作してもグリースが出ない	グリースが入っているか	グリースの補給・交換
	フォロープレートが正しくセットされているか	点検・対策
	ポンプの故障	サクシオン部の点検
グリースは出るが圧力・流量が不足	フォロープレートが正しくセットされているか	点検・対策
	ポンプの故障	サクシオン部の点検
グランドの上からグリースが出る	グランドパッキンの摩耗	増し締めまたは新品と交換

4.2 保守・点検

[点検]

- ・ ハンドルの操作が重くなった場合には、グランドを少し緩め、油を数滴してから締め付けてください。(Fig.7)
- ・ ホースは消耗品です。定期的に点検し、キズ・漏れなどがある場合は早めに交換してください。

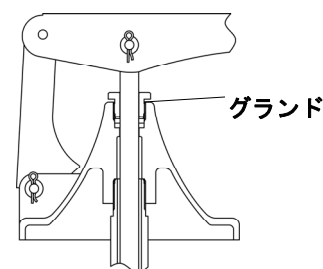


Fig.7

4.3 分解・組み立て



警告



- － ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対使わないでください。引火・爆発の恐れがあります。

[サクシオン部の分解・点検]

- 1) 高圧ホースをねじ戻し取り外してください。
- 2) 油槽に蓋を固定しているバンドのストッパーを外し、止め金を起こしてバンドを緩めて外し、ポンプ組立を蓋と共に取り出してください。
- 3) 蓋裏面の3本のタッピンネジをねじ戻し外し、蓋とポンプ組立を分離してください。
- 4) サクシオンチューブをバイスに固定してください。
このとき、ピストンロッドが上下する部分（下から約 20 cm 位まで）は、バイスなどに掛けしないでください。
- 5) シリンダー下部のナットをねじ戻して取り外してください。
- 6) シリンダーにパイプレンチを掛け、ねじ戻して取り外すと、ピストン・バルブ・パッキン・締付ネジ・遊動子が分解できます。(Fig 8)
- 7) 各部品を洗浄・点検し、キズや摩耗があれば新しい部品と交換してください。
- 8) 点検・交換後部品の向きに注意して、分解と逆の順序で組み立ててください。

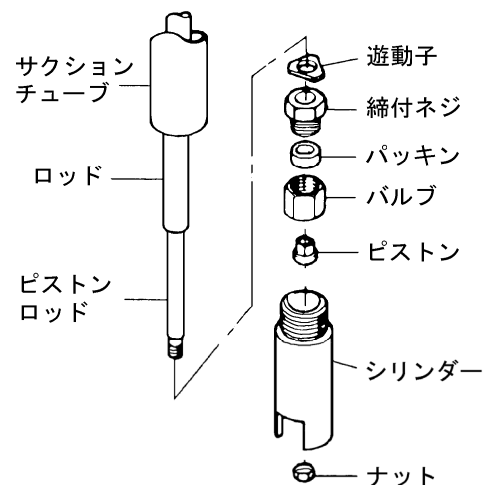
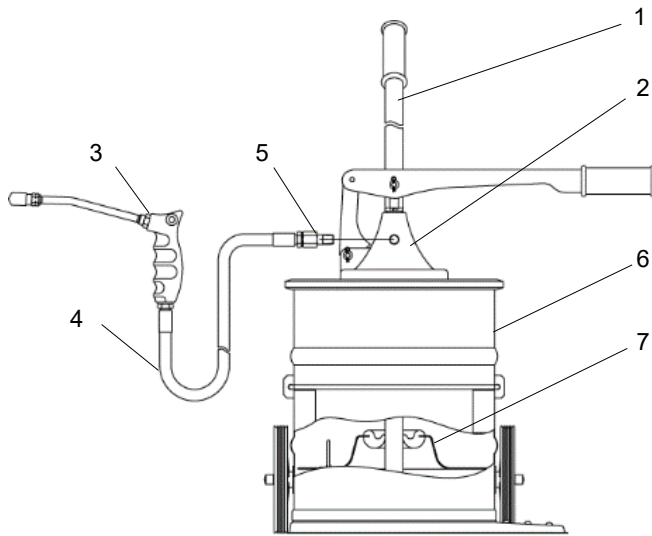


Fig.8

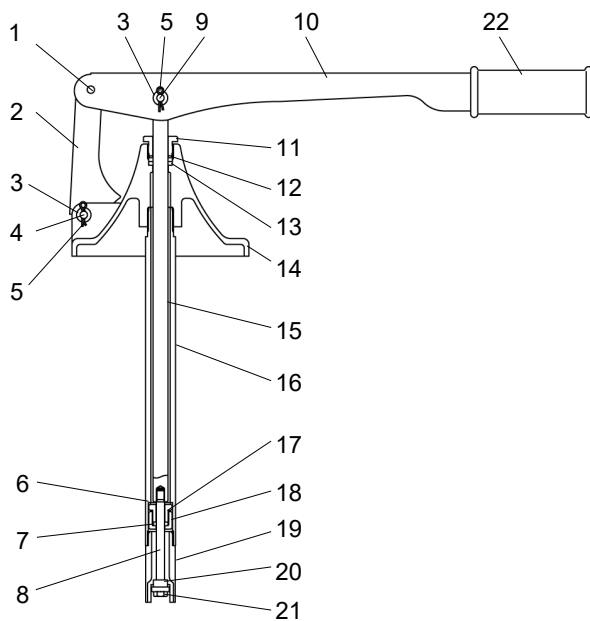
5. 部品分解図・パーツリスト

5.1 881245 高圧グリースポンプ



No.	部品番号	部品名称	員数
1	855470	ペールキャリアー	1
2	851111	ポンプ組立	1
3	800601	高圧グリースガン	1
4	695046	高圧ホース	1
5	800600	リリースバルブ組立	1
6	855473	キャビネット組立	1
7	801426	フォロープレート	1

5.2 851111 ポンプ組立



No.	部品番号	部品名称	員数
1	702531	ピン	1
2	703182	リンク	1
3	631012	平座金	2
4	703574	ピン	1
5	680608	スナップピン	2
6	703183	遊動子	1
7	770332	パッキン	1
8	715805	ピストンロッド	1
9	703580	ピン	1
10	703185	ハンドル	1
11	580994	グラウンド	1
12	701755	座金	1
13	770333	パッキン	2
14	708317	本体	1
15	707234	ロッド	1
16	708315	サクシオンチューブ	1
17	703188	締め付けネジ	1
18	703189	バルブ	1
19	703190	シリンダー	1
20	715804	ピストン	1
21	627290	ナット	1
22	770494	握り	1

6. 主要諸元

■仕様

型式	SK-700
製品番号	881245
全高	943 mm
質量	10.1 kg
油槽容量	16 L
付属品	800601 高圧グリースガン.....1 695046 高圧ホース.....1 801426 フォロープレート.....1 855470 ペールキャリア.....1

■ポンプ性能（参考）

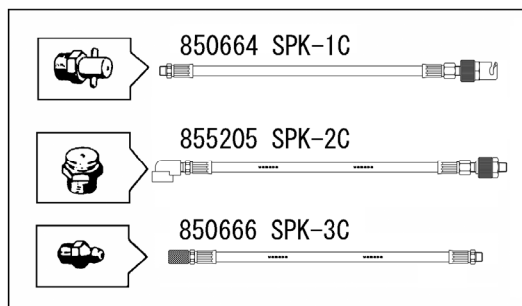
吐出圧力※	吐出量	ストローク
25 MPa	3.2g / ストローク	38～43 mm

※印は下記の条件により給脂ガン出口の参考値

使用グリース	油温	ホース・ガン
NLGI No.0	20 °C	標準品を使用

■アクセサリ

給脂しようとするニップルが、狭い場所や作業しにくい場所、またはピンタイプやボタンヘッドタイプのニップルに給脂する場合は、専用のマイクロホースを用意しております。別途、ご購入の上ご利用ください。



7. 製品保証登録シート

- ・お手数ですが、弊社 HP <https://www.yamadacorp.co.jp> からご登録または下記のシートをコピーして必要事項をご記入の上、下記弊社宛てにご送信ください。（フリガナ指定の項目は、必ずご記入ください。）

製品保証登録シート																														
フリガナ 貴社名 _____		フリガナ ご担当者名 _____																												
郵便番号 _____		ご所属 _____																												
フリガナ ご住所 _____ _____		ご連絡先 T e l . () _____ - _____ F a x . () _____ - _____ E メールアドレス _____																												
■貴社の業種を下記より選んで○で囲んでください。 <table border="0"> <tr> <td>1. ガソリンスタンド</td> <td>2. 自動車整備業</td> <td>3. 自動車部品製造</td> </tr> <tr> <td>4. 車両・造船業</td> <td>5. 製鉄業</td> <td>6. 機械加工業</td> </tr> <tr> <td>7. 機械製造業</td> <td>8. 電気機械器具製造</td> <td>9. 半導体製造業</td> </tr> <tr> <td>10. 化学・プラント</td> <td>11. 建築・土木</td> <td>12. 塗料・インキ製造業</td> </tr> <tr> <td>13. 薬品・樹脂</td> <td>14. 食品製造業</td> <td>15. 塗装業</td> </tr> <tr> <td>16. 鉄道・バス・運輸業</td> <td>17. 窯業・陶器製造</td> <td>18. 印刷産業</td> </tr> <tr> <td>19. 鋳造業</td> <td>20. 石油産業</td> <td>21. 電気部品製造</td> </tr> <tr> <td>22. 軽金属・非鉄</td> <td>23. 織物・家具</td> <td>24. パルプ</td> </tr> <tr> <td colspan="3">25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）</td> </tr> </table>				1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造	4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業	7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業	10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業	13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業	16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業	19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造	22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ	25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）		
1. ガソリンスタンド	2. 自動車整備業	3. 自動車部品製造																												
4. 車両・造船業	5. 製鉄業	6. 機械加工業																												
7. 機械製造業	8. 電気機械器具製造	9. 半導体製造業																												
10. 化学・プラント	11. 建築・土木	12. 塗料・インキ製造業																												
13. 薬品・樹脂	14. 食品製造業	15. 塗装業																												
16. 鉄道・バス・運輸業	17. 窯業・陶器製造	18. 印刷産業																												
19. 鋳造業	20. 石油産業	21. 電気部品製造																												
22. 軽金属・非鉄	23. 織物・家具	24. パルプ																												
25. その他（詳しくご記入ください。 _____ ）																														
ご購入年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	主なご用途																												
ご購入販売店		製品名（型式）																												
		製品番号																												
		SERIAL No.																												

※個人情報とは当社の個人情報方針に基づき適切な安全対策のもと管理し、お客様の同意なく第三者へ開示、提供いたしません。

宛先
株式会社 ヤマダコーポレーション
営業本部
TEL. 03-3777-4101
FAX. 03-3777-3328

8. 保証規定

本製品は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起りました場合には、納入日より 12 か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償および次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して 12 か月間といたします。

2.保証内容：保証期間中に、本製品を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：保証期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解するような液体を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、O リング、ホースなどの消耗部品の摩耗。
- (7) 指定外の電源(電圧)で使用された事により発生した故障および損傷。
- (8) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
- (9) 火災、地震、水害、およびその他天災、地変などの不可抗力による故障および損傷。
- (10) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用したりした場合に発生した故障。
- (11) 過度に摩耗性を有する材料や、本製品に不適当な油脂を使用した場合の故障。
- (12) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品など、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 5 年とさせていただきます。製造打ち切り後 5 年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業本部 〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号
ホームページ <https://www.yamadacorp.co.jp>
E-mail sales@yamadacorp.co.jp



札幌営業所 東京営業所 大阪営業所 福岡営業所
仙台営業所 名古屋営業所 広島営業所 相模原工場

製品お問合せはこちらへ ☎0120-518-055